

平成29年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	けんせつフェア北陸in新潟2017	事業経緯	継 続	実施体制	後 援	担当所属	技術部
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	技術開発支援事業		事業区分	技術開発、研究開発	

1. 事業目的

本事業は、産・学・官の優れた建設技術を一堂に集め、建設技術者の技術の研鑽・高揚並びに技術情報の交流の場とすることで、建設技術の一層の高度化、広範囲な技術開発の促進を図り、新技術・新工法の積極的な活用促進、建設技術を活かした地域づくりや担い手確保につながる広報を目的に開催する。

2. 事業実施体制

主 催：「けんせつフェアin北陸」実行委員会

北陸地方整備局/新潟県/富山県/石川県/新潟市/日本高速道路(株)新潟支社/中日本高速道路(株)金沢支社/(一社)日本建設業連合会北陸支部/(一社)日本道路建設業協会北陸支部/(一社)新潟県建設業協会/(一社)富山県建設業協会/(一社)石川県建設業協会/(一社)日本建設機械施工協会北陸支部/北陸土木コンクリート製品技術協会/(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部/(一社)建設電気技術協会北陸支部/北陸地質調査業協会/(一財)日本建設情報総合センター北陸地方センター/(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部/北陸建設リサイクル協会

共 催：北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会(協議会構成：34団体)

協 賛：東日本旅客鉄道(株)上信越工事事務所/北陸電力(株)/東北電力(株)

後 援：新潟大学、長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、
(一財)河川情報センター、(一財)先端建設技術センター、(公社)雪センター、
(一社)北陸地域づくり協会、(一財)経済調査会、ほか報道20社

3. 事業実施概要

日 時：平成29年11月1日(水)9:30～17:00/11月2日(木)9:00～16:00

場 所：新潟市産業振興センター

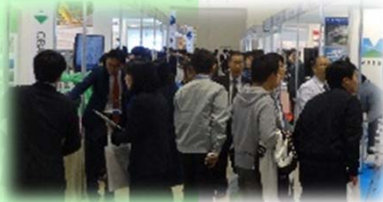
開催テーマ：

- ・イベント名称：「けんせつフェア北陸in新潟2017」
- ・サブタイトル：「みて、ふれて、知る 新技術・新工法」
- ・キャッチフレーズ：「生産性革命を支える建設技術」

展示内容など：

- ・民間企業の新技術・新工法の紹介展示
- ・民間企業の建設機械等の展示・実演
- ・北陸地方整備局・自治体等の公共事業の紹介
- ・展示技術プレゼンテーション
- ・「i-Construction」技術に関するプレゼンテーション
- ・ICT関連の特設展示・実演
- ・合同企業セミナー

来場者：のべ4,700人



4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

1993年より隔年で開催しており、今回で13回目となる。行政関係者並びに建設技術者の技術力向上、技術研鑽・高揚を図り、技術開発・研究開発の一助となるとともに、新技術・新工法の活用・普及につながる事が期待される。

2016年は「生産性革命元年」と位置づけられ、業界を挙げて生産性革命に取り組んでおり、建設現場で働く労働者ひとり一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取り組みを進めている。本フェアにおいても「生産性革命」をキャッチフレーズに謳い、屋外に実演・体験型のICT関連特設展示会場を設け、UAVIによるデモンストレーションや建設機械の実演を行い、多くの来場者から注目を集めた。

「合同企業セミナー」に参加された学生からは、「進路や就職先の選択に非常に参考になった」などの意見があり、担い手確保の一環として行った成果が十分に感じ取れた。

来場者数は平日開催にもかかわらず前回の3,900人を上回る大盛況で、アンケートでは9割以上が次回以降も開催を望んでいる。また、今回の出展者数152は過去2番目に多く、出展者アンケートにおいて「次回以降も出展を望む」企業が9割以上を占め、来場者だけでなく出展社にとっても有意義な事業となったことが伺える。



テープカット



展示技術プレゼン



合同企業セミナー



ICT特設展示 実演

